

Information of Kagamifuchi

2025. 7. 10

新潟市立鏡淵小学校

7月1日 全校朝会 校長講話より

誰にとっても「優しい」教育を目指して

今日から7月です。気温が高い、夏らしい日が増えてきました。夏休みもだんだん近づいてきます。今月も水泳や教室での学習、そして、あいさつなどもがんばっていきましょう。

3月と4月の全校朝会でもお話をしましたが、鏡淵小では、特別支援学級の名前が「ひだまり学級」となりました。ひだまり学級は4クラスに増え、教室も各階の同じ学年の近くになっています。

これまで、特別支援教育担当の先生たちが、各学年の教室で「ひだまり学級について、もっとよく知ろう」というテーマで授業をしてくださっています。私もいくつかの学年での学習の様子を見せてもらいました。学校の様々な場面で、皆さんが周りの人たちに優しく接している姿を見て、とても嬉しく思っています。

今日は、鏡淵小のひだまり学級（特別支援学級）、まなび、ことば、きこえの教室（通級指導教室）、そしてひまわり学級（院内学級）についてお話をします。

その前に、皆さんと考えてみたいことがあります。こんなとき、どうすればよいでしょう。

（特別支援教育における「環境整備」「個別の配慮」をイメージしたイラスト
～ 子どもたちが木製フェンス越しに野球の試合を見ようとしている姿～ を提示）

にこもり班のみんなで、スタジアムに野球を見に行ったらとしましょう。

上の学年の子は背が高いので、フェンスがあってもグラウンドがよく見えますね。でも、低・中学年の子はフェンスが高くて試合が見えない、または、かなり見えづらいようですね…。どうすれば、3人とも試合を見ることができるようでしょう。

①身長に応じて台を1つ、または2つ重ねて置き、そこに乗っているイラスト

②台がないので、金網フェンスの場所へ移動して、そこから見ているイラスト を提示）

【ひだまり学級について】

ひだまり学級では、担任の先生や支援員の先生、学校看護師の先生が子どもたちの近くについて、学習や活動が進められています。先生たちは、子どもたちのよさやがんばり、得意なこと、そして「こういう力をつけていきたいね」ということを話し合いながら、一人一人を応援しています。

また、ひだまり学級では、同じ学年の友達と一緒に学ぶ（交流学习）も大切にしています。



私自身も含め、人は誰でも苦手なことやうまくできないこと、そして、好きなことや得意なことがあります。交流学习に限らず、いろいろな学習の中で、近くの友達が困っている様子の中には、「大丈夫？何か困っている？」とそっと声をかけてもらえるといいなと思います。

【まなび、ことば、きこえの教室について】

鏡淵小には、「まなびの教室」と「きこえの教室」が1クラスずつ、「ことばの教室」が2クラスあります。専門の先生たちが鏡淵小の子どもたち、そして、他の小学校から、その時間だけ通ってくる子どもたちの力を高めていくための計画を立て、授業をしています。通っている子どもたちは、先生との学習を楽しみにして、力をつけ、自信も高めてきています。



【ひまわり学級について】

県立がんセンター内にある「ひまわり学級」では、治療の進み具合や一人一人の体調、そして「学びたい」「友達と一緒にがんばりたい」という気持ちを第一に考えながら、教室やベッドサイド、リモートなどで学習をしています。お医者さんも、「ひまわり学級は、治療をがんばっている子どもたちにとって、とても大切な場所です」とお話しされています。



【各学年の教室での工夫について】

「できる工夫をして、一人一人のがんばりを応援する」という特別支援教育の考え方は、各学年の教室にもたくさん生かされています。そのうち、いくつかを紹介します。

(各教室の授業の写真からクローズアップして以下を提示)

- ①椅子の脚に付けた騒音低減のテニスボール
- ②「一日の流れ」を示したホワイトボード
- ③黒板の周囲をスッキリさせる工夫(掲示物は最小限)
- ④「課題」「まとめ」など授業の流れの明示
- ⑤モニターやiPadの活用 など

たくさんあるので、紹介しきれませんが、学校では、皆さんにとって分かりやすい学習になるよう、先生たちで相談していろいろな工夫をしています。特別支援教育は、誰にとっても優しく、一人一人の力を高めていくことを目指した、学校として大切にしている取組です。皆さんとの関わりから、私も含め、先生たちもたくさん考え、話し合い、学んでいます。

一人一人、得意なことや苦手なことなど違いがあっても当然です。そのような違いを認め合い、みんなが安心して過ごせる学校を皆さんと一緒に目指していきたいと思っています。